

1 調査名称：加賀市総合都市交通体系調査

2 調査主体：加賀市

3 調査圏域：加賀・山中都市計画区域

4 調査期間：平成23年度

5 調査概要：

市町村合併に伴う都市構造や人口・交通量の減少に見られる社会情勢の変化、少子高齢社会の到来を考慮した公共交通、自転車などの交通ニーズの高まりに対応すべく、2つの都市計画区域（加賀・山中）の一元化による都市計画道路網の新たな構築及び長期未着手道路の見直しによる都市計画道路網の適正な形成を図ることを目的とする。

交通実態の把握や都市計画道路網計画を策定することにより、「加賀都市計画道路網」の見直しを行う。

I 調査概要

1 調査名:加賀市都市計画道路網再編計画策定業務

2 報告書目次

1 業務概要

- (1) 業務目的
- (2) 業務の対象範囲
- (3) 都市計画道路の現況
- (4) 見直し対象路線の抽出方針

2 現地調査

- (1) 作見地域
- (2) 片山津地域
- (3) 山代地域
- (4) 大聖寺地域
- (5) 山中地域

3 交通量推計

- (1) 交通量推計の概要
- (2) 道路ネットワークの作成
- (3) 自動車OD表の作成
- (4) 現況再現性
- (5) 交通量推計結果

4 費用便益評価

- (1) 費用便益分析の考え方
- (2) 歩道整備の場合の費用便益

5 交通量調査

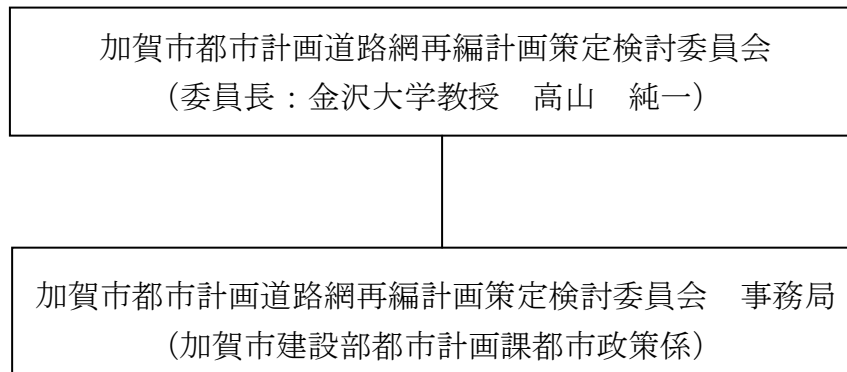
- (1) 自動車断面交通量
- (2) 歩行者、自転車断面交通量

- 6 加賀市都市計画道路網再編計画（案）
 - (1) 基本方針
 - (2) カルテフォーマット
 - (3) 加賀市都市計画道路見直し方針一覧
 - (4) 概算事業費一覧

- 7 検討委員会資料、議事録

- 8 打合せ記録

3 調査体制



4 委員会名簿等：

委員会職	氏名	分野	所属	職
委員長	高山 純一	交通工学、都市計画	金沢大学	教授
委員	馬場先 恵子	都市計画	金沢学院大学	教授
委員	大家 保夫	まちづくり	加賀市区長会連合会	副会長
委員	二木 利行	まちづくり	山中温泉地域協議会	会長
委員	下口 進	観光	加賀市観光交流機構	専務理事
委員	萬谷 浩幸	商工	加賀青年会議所	副理事長
委員	竹村 裕樹	関係行政機関	石川県南加賀土木総合事務所	所長
委員	宮田 正弘	関係行政機関	石川県土木部都市計画課	課長
委員	嶽野 賢一	消防、防災	加賀市消防本部	消防長
委員	田中 広志	担当部局	加賀市建設部	部長

II 調査成果

1 調査目的

加賀市における長期未着手都市計画道路について、「石川県都市計画道路見直しガイドライン」に基き、社会情勢の変化や将来の交通需要を踏まえ、計画の必要性や事業実現性などを評価し、計画の継続、変更、廃止などの見直しの方向性を検討するものである。

2 調査フロー

STEP 1

都市計画道路見直し対象路線の抽出

STEP 2

ネットワーク上での重要性評価

- ・都市骨格形成
- ・主要拠点アクセス

STEP 3

必要性・事業実現性の定量評価

1. 必要性

- ・交通処理機能（自動車）
- ・交通処理機能（歩行者自転車）
- ・土地利用支援機能
- ・空間・防災機能

2. 事業性

- ・地元意向
- ・物理的・地形的制約
- ・歴史・文化資源

STEP 4

必要性・事業実現性の定性評価

1. 必要性・・・機能毎の必要性を評価

- ・交通処理機能
- ・土地利用支援機能（活性化、にぎわい創出）
- ・防災機能

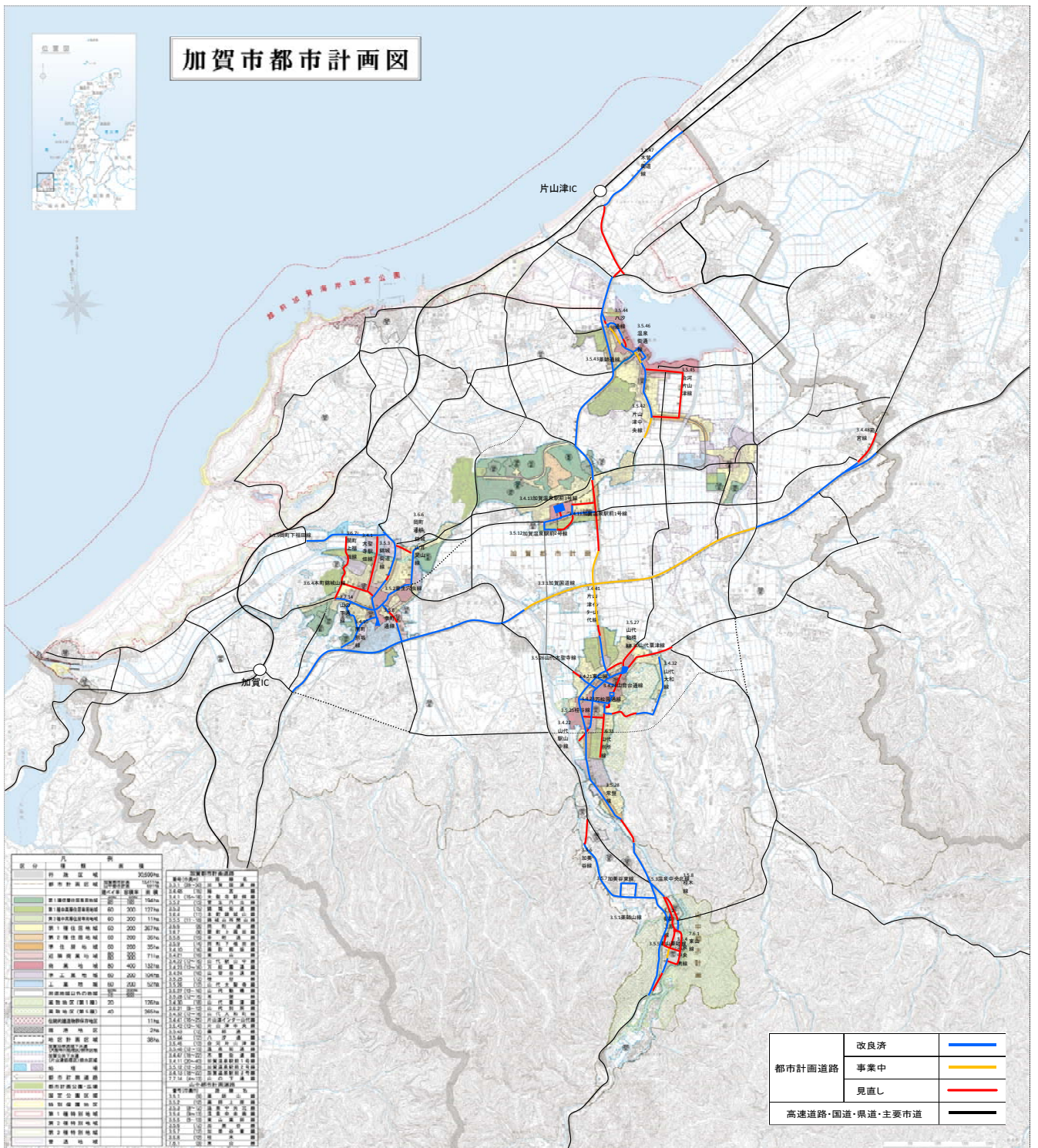
2. 事業性・・・必要性のある路線について事業性を評価
 - ・物理的・地形的制約
 - ・歴史・文化資源への支障
 - ・線形・幅員変更の余地
 - ・線形・幅員変更での対応
3. その他（地域特性・路線特性の評価）

STEP 5

総合評価

1. STEP 2～4の評価結果の整理
2. 総合評価（STEP 2～4を踏まえた総合評価の提示）
3. 総合評価に対する検証
4. 見直しの方向性（素案）

3 調査圏域図



4 調査成果

- ・別添ファイル参照

路線番号	路線名	区間	管理者	計画決定			区間延長 (m)	評価					総合評価		見直しの方向性 素案	備考	費用便益分析						
				計画幅員	計画車線数	延長(m)		STEP2(6)	STEP3 必要性(8)	STEP3 事業性(7)	STEP3結果	STEP4	STEP5	主な検証項目			費用 (億円)	便益(億円)			結果 B/C		
																		自動車	歩道	計			
作 見																							
3.4.11	加賀温泉駅前1号線		県	40	(4)	740	80	4	4	7	個別検討	計画変更(線形・幅員)	要検討		計画継続 (関連計画確定時に再検討)	40m:新幹線計画が確定した時点で再検討	1.52		3.03	3.03	1.99		
3.5.12	加賀温泉駅前2号線		市	12	(2),(4)	1,150	480	1	2	7	必要性が低い	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	病院計画、地区計画を想定した沿道土地利用	廃止	新病院計画地のため廃止					-		
3.4.13	加賀温泉駅前3号線		市	18	(2),(4)	600	410	1	3	7	個別検討	計画変更(線形・幅員)	要検討		計画継続 (関連計画確定時に再検討)	18m:新幹線計画が確定した時点で再検討,地区施設道路の見直しを伴う	4.38	0.00		0.00	0.00		
3.4.41	片山津インター山代線	2/3	県	16	(2)	9,220	1,210	6	5	5	必要性・事業性が高い	計画変更(線形・幅員)	計画変更(幅員)	歩道幅員について自動車・自転車・歩行者交通需要	計画継続	16m:JRをアンダーパスする幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある。交差点部付加車線の必要もある。	13.51	0.99		0.99	0.07		
片 山 津																							
3.4.41	片山津インター山代線	1/3	県	25,22	(2),(4)	9,220	1,480	3	4	6	個別検討	廃止の方向	廃止	各種代替機能	計画変更(線形)	ネットワーク確保のため(主)小松加賀線W=16.8m、(主)山中伊切線W=15.3m(現道)を都市計画決定する	23.09	0.00		0.00	0.00		
3.4.48	箱宮線		国	16	(2)	500	500	4	1	7	必要性が低い	計画継続	要検討	歩道幅員について自動車・自転車・歩行者交通需要	計画継続	16m:主要幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある	1.99		4.99	4.99	2.51		
3.5.42	片山津中央線		県	12	(2)	2,650	70	2	3	7	個別検討	計画継続	計画継続		計画継続	12m:片山津温泉中心部へのアクセスする補助幹線道路として、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある	0.16		1.55	1.55	9.69		
3.5.44	八汐通線		市	12	(2)	630	145	0	1	5	必要性が低い	計画変更(線形・幅員)	計画変更(線形)	片山津中央線取付部の線形変更(支障物件回避)	計画継続	12m:補助幹線道路であり、温泉旅館を周遊する観光バスルートとしても最適である	1.92	0.00		0.00	0.00		
3.5.45	合河片山津線	1/2	市	12	(2)	2,020	1,680	0	3	7	個別検討	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	各種代替機能	廃止	市道C501号線がネットワーク、代替機能確保済み					-		
		2/2	市	12	(2)		340	2	4	7	個別検討	計画変更(線形・幅員)	計画変更(線形)	ネットワークの確保、大型車を想定した道路線形	計画変更(線形)	12m:幹線道路であり、市道C501号線との連続性確保及び観光バス等の通行に配慮した線形に変更する	4.18	0.86		0.86	0.21		
山 代																							
3.4.22	山代駅山中線	1/2	県	12	(2)	990	50	3	2	7	必要性が低い	計画継続	要検討	歩道幅員について自動車・自転車・歩行者交通需要	計画継続	12m:幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある	0.25		1.11	1.11	4.44		
		2/2	市	12	(2)		190	0	1	7	必要性が低い	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	各種代替機能	廃止	南加賀道路が幹線機能を果たし、アンダーパスとして現道が残される					-		
3.4.23	万松園通線		市	広場		3400m2	3400m2	0	3	5	個別検討	廃止の方向	廃止	各種代替機能	廃止	隣接地の(仮称)万松園広場(避難地指定)が代替機能確保済み					-		
3.4.32	山代大和町線		市	12	(2)	2,080	480	1	2	7	必要性が低い	計画変更(線形・幅員)	計画変更(幅員)	歩道設置についての沿道土地利用	計画変更(幅員)	10.8m:万松園風致地区内であり、沿道利用がない区間は片歩道に変更する(現況10.8m)	0.05		0.00	0.00	0.00		
3.4.41	片山津インター山代線	3/3	県	16	(2)	9,220	190	4	4	7	個別検討	計画継続	計画継続		計画継続	16m:幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある	0.80		0.76	0.76	0.95		
3.5.25	桂谷線		市	12	(2)	380	380	0	2	5	必要性が低い	計画継続	要検討	ネットワーク確保	計画継続	12m:避難地(桔梗が丘広場)に直接連絡する補助幹線道路であり、山代地区外郭を形成するネットワークの確保が必要である	6.10	1.48		1.48	0.24		
3.5.26	山代大聖寺線		県	12	(2)	540	374	4	4	7	個別検討	計画継続	計画継続		計画継続	12m:幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある。旧松籟荘は支障物件とはならない。	3.59	0.17		0.17	0.05		
3.5.27	山代動橋線		市	12	(2)	1,040	600	0	3	3	個別検討	計画継続	計画継続		計画継続	12m:山代温泉中心部にアクセスする補助幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性確保やにぎわい創出に寄与する路線整備の必要がある	12.02		23.00	23.00	1.91		
3.5.28	常盤線	1/2	市	12	(2)	4,030	340	0	2	7	必要性が低い	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	各種代替機能	廃止	(都)東山線がネットワーク、代替機能確保済み					-		
		2/2	県	12	(2)		460	3	2	5	必要性が低い	計画変更(線形・幅員)	計画変更(幅員)	歩道設置についての沿道土地利用	計画変更(幅員)	9.9m:地形的制約があり、沿道利用がない区間は片歩道に変更する(現況9.9m)	7.17		0.00		0.00		
3.6.31	山代別所線	1/2	市	12	(2)	1,030	65	0	1	7	必要性が低い	計画継続	要検討	ネットワーク確保	計画継続	12m:避難地(桔梗が丘広場)に連絡する補助幹線道路であり、(都)桂谷線とあわせ山代地区外郭を形成するネットワークの確保が必要である	1.51	2.51		2.51	1.66		
		2/2	市	8	(2)		747	0	1	5	必要性が低い	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	南加賀道路の計画との整合	計画継続 (関連計画確定時に再検討)	8m:交差する南加賀道路の計画確定時に再検討(外郭補助幹線から幹線への位置付け変更、常盤線との接続等)	8.15	3.06		3.06	0.38		

路線番号	路線名	区間	管理者	計画決定			区間延長 (m)	評価				総合評価		見直しの方向性 素案	備考	費用便益分析					
				計画幅員	計画車線数	延長(m)		STEP2(6)	STEP3 必要性(8)	STEP3 事業性(7)	STEP3結果	STEP4	STEP5			主な検証項目	費用 (億円)	便益(億円)			結果 B/C
																		自動車	歩道	計	
大 聖 寺																					
3.4.1	大聖寺駅畑線		市	15,18	(2)	1,590	1,160	1	7	1	個別検討	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	防災に関する代替機能	廃止	代替機能を確保 ・道路事業による6m道路の確保 ・狭隘部など個別整備 ・地域地区としての防火地域指定や特別消防対策区域指定など					-
3.5.5	錦城山耳間山線		県	11	(2)	1,380	40	4	3	7	個別検討	計画変更(線形・幅員)	計画変更(幅員)	歩道幅員について自動車・自転車・歩行者交通需要	計画継続	11m:幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある	2.79	0.31		0.31	0.11
3.5.8	幸町通線		県	15	(2)	750	210	5	6	5	必要性・事業性が高い	計画変更(線形・幅員)	計画変更(幅員)	歩道幅員について自動車・自転車・歩行者交通需要	計画継続	15m:JRをアンダーパスする幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある	5.40		4.51	4.51	0.84
3.6.4	本町錦城山線		市	11	(2)	500	500	0	2	5	必要性が低い	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	防災に関する代替機能	廃止					-	
3.6.6	岡町通線		市	8	(2)	320	320	0	3	5	個別検討	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	防災に関する代替機能	廃止	代替機能を確保 ・道路事業による6m道路の確保 ・狭隘部、橋梁部など個別整備 ・地域地区としての防火地域指定や特別消防対策区域指定 など					-
3.6.7	閑町上福田線		市	8,15	(2)	1,230	1,195	0	3	3	個別検討	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	防災に関する代替機能	廃止					-	
山 中																					
3.5.3	温泉中央北線		市	8,12	(2)	980	980	4	3	7	個別検討	計画変更(線形・幅員)	計画変更(幅員)	自動車・自転車・歩行者交通需要 桂木線平行区間のネットワーク上の必要性	廃止	平行する(都)桂木線が幹線機能を担っており、三叉路から南側は廃止					-
3.5.3	温泉中央北・南線(広場)		市	広場		3900m2	3900m2	0	2	5	必要性が低い	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	各種代替機能	廃止	駅は廃止されており、「駅前を起点とした結節点整備」とした当初目的が変化している					-
3.5.4	温泉中央南線	1/2	市	13	(2)	1,150	350	2	4	5	個別検討	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	総湯とゆげ街道との連絡、山中伊切線との振り替え	計画変更(線形)	13m:広場廃止に伴い、南北ネットワーク機能の確保のため白鷺大橋まで延伸する(事業化時、(主)山中伊切線の取り扱いを含め再協議)	16.69	1.93		1.93	0.12
		2/2	県	9,13	(2)		303	3	4	7	個別検討	計画変更(線形・幅員)	計画変更(幅員)	こおろぎ橋への道路取付け	計画継続	13m:幹線道路であり、ネットワーク確保とともに、整備済み区間との連続性が求められる。こおろぎ橋への取付け道路の線形変更により地形的制約を回避できる。	8.28	0.00		0.00	0.00
3.5.5	東山薬師線		市	9,12,13	(2)	560	560	0	5	3	個別検討	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	東西方向のネットワーク確保	廃止	(都)薬師山線がネットワーク、現道が代替機能確保済み					-
3.5.6	加美谷線		市	12	(2)	2,370	365	0	4	7	個別検討	計画変更(線形・幅員)	計画変更(幅員)	歩道設置についての沿道土地利用	計画変更(幅員)	9.5m:地形的制約があり、沿道利用がない区間は片歩道に変更する(現況5m)	2.87	1.36		1.36	0.47
3.5.8	桂木線		市	12	(2)	730	610	4	3	5	個別検討	計画継続	計画継続		計画継続	12m:幹線道路であり、自動車交通と共に歩行者・自転車の安全性、ネットワーク確保の必要がある	9.40		4.73	4.73	0.50
7.6.1	東山線		市	9	(2)	860	860	0	2	3	必要性が低い	市判断(廃止を含め課題整理)	廃止	防災に関する代替機能	廃止	代替機能を確保 ・道路事業による6m道路の確保 ・狭隘部など個別整備 ・地域地区としての防火地域指定や特別消防対策区域指定など					-

